

第2回 学校運営協議会 記録

令和元年 11 月 6 日

1. 学校長挨拶

2. 事務局（教頭）より

- ・ 本日の時程
- ・ 配布資料の確認

3. 本校授業見学

- ① 「クラフト B」 (3 年生)
- ② 「陶芸入門」 (3 年生)
- ③ 「心理学入門」 (2 年生)
- ④ 「手話を学ぶ」 (2 年生)

4. 本校からの現状報告

(1) 前回 (6 月) 以降の学校の動きについて (教頭より)

- ・ 6 月の体育祭では、2 年連続の雨天順延に見舞われたが、特に混乱もなく、無事に終えることができた。閉会式では各団の垣根を超えて、3 年生みんなが肩を組んで校歌を歌い始めた姿は感動を呼んだ。他、8 月スタディーツアー、10 月文化祭報告。

(2) 本年度の生徒の様子について

<スタディーツアー報告> (教頭より)

- ・ 8 月のスタディーツアーでは 12 名の参加があり、充実した顔つきで帰国した。例年生徒は思わぬ力を発揮し、生徒自身の進路決定に大きな影響を及ぼしている。次年度以降も続けていく方向で考えている。

<35 期就職状況> (ガイダンス部長より)

- ・ 1 次試験の結果は 88% を超える合格結果で、順調に進んでいる。残り数名と、受験からの転向組を数人、随時、応募前職場見学等、挟みながら指導している。最終 100% の就職率を目指し取り組んでいる。

<文化祭報告> (教頭より)

- ・ 10 月の文化祭では正門アーチの仕掛けも年々グレードアップしており、来客を楽しませていた。それとともに、生徒の成長が見て取れ、やはり本校は行事で生徒を伸ばす学校であることを再確認した。

(3) 当面の行事について

- ・ 11/9 (土) 中学生体験入学
- 11/21 (木) 課題研究校内プレゼン発表大会
- 11/22 (金) 総合学科教育研究発表大会
- 11/29 (金) ～12/6 (金) 12月考査
- 11/30 (土) 府高P第5ブロック第2回総会・研修会
- 1/16 (木) 課題研究発表大会 (八尾プリズムホール)
- 1/24 (金) ～1/31 (金) 3年生学年末考査
- 2月・3月本校入試

5. 協議

「本校で取り組む授業力向上について ～10年経験者研修の取り組みより～」

(議長) 本日の授業の感想はいかがでしたか？

(委員A) 生徒が前を向いてしっかり受けている。英語の授業がオールイングリッシュで進んでいくような感じで「オール手話」で展開されていた見学時の「手話を学ぶ」の授業はすばらしかったです。

(委員B) 親目線として、「陶芸入門」や「手話を学ぶ」など、個性を重視した授業はとても良いと思います。「クラフトB」の授業の日などは、その授業工程説明など、家庭内での親子の会話が弾みます。

PTAでも陶芸体験でマグカップを作りましたが、先生との触れ合いを含め、良い学校に子供を通わせていると思います。

(委員C) 大学と比較したところ、高校のフレンドリーさが、生徒との信頼関係構築の仕組みを作っていると思います。「陶芸」は集中力と持続力が身につく、素晴らしい。「心理学入門」の授業は、担当教諭の人柄が出て自己開示を含めて楽しい授業でした。「手話を学ぶ」は社会性を養うとともに、人間力の向上、人間性の目を養うことができたのではないかと感じました。

(委員D) 総合学科のすばらしさを実感しました。心理学の授業は、キャリア教育として、皆が選択すればいいと感じました。

(委員E) いろんなバリエーション豊かな形式を見せて頂いた。

これが総合学科かなと思った点が3つありました。

1つ目は、「陶芸入門」・「クラフトB」の授業です。

出来上がってくる作品に驚いた。それらをとおして、社会への接続の場が見えた。

2つ目は、手話の授業です。

「手話を学ぶ」は、お互い同士が反応しあい、学びあっているところが良かった。

3つ目は、発言のしやすさ。

前へ出て発言している。おそらく関わりやすいのではないか。キャッチボールできない子たちの声掛けが出来ていて、もっと授業が深まるような引けだしをもっているんだなと思いました。

(議長) 子どもらが一生懸命取り組んでいてよかった。「クラフトB」や「陶芸入門」の時間は、以前、金沢に行った時は、美術の専科が多く、作品もすごい作品が廊下に並んでいて、それを見て子どもたちが落ち着くのではないか。自分を表現することによって、心が落ち着くとか、作ったアートがいろんな活躍をするんだなと、刺激的だった。「心理学入門」も難しく、子どもたちも、自分を見つめるきっかけになるでしょうね。自分が、客観的に見る力を獲得する。「手話を学ぶ」は、来々週に手話の外部講師の方が来るということで、質問を考えて手話を覚えていました。子どもの意欲や頑張りとか、一步踏み出させるような授業でした。

(議長) その他、授業を見せて頂いて何かないですか。

(教員 F) 心理学の授業をやっていく中で、子どもの発言を引き出したくて、性格検査だったり、自分の伸ばしたいこととか、自分の知りたいところが知れる。ただ、子どもは検査で自分を知ることによって本当の自分も知れるので、積極的に取り組んでくれている。前回10分～15分やらせて、今日はその続きで、具体的な話題が出ておもしろい。自分を褒める場面があればいいなと、そして次に頑張っていく、励ましになっている科目と感じています。

(議長) 手話の授業を見せてもらって素敵だなと思いました。

(教員 G) 本日見ていただいた生徒は意欲に溢れている子が多く、吸収力もよく、人前で発表するのも臆することなく、積極的にしてくれている。また、日常生活でも使えたよと言ってきて、今年の生徒は表現したい子というのが多い。

(議長) 誰一人としてバカにしなかったのがよかった。

(教員 G) 表現活動をしたいという生徒が多く、逆にこちらが刺激になります。

(議長) 協議冒頭の、授業力向上という取り組みについてはいかがでしょうか。小学校では力を入れてやっているのではないですか。

(委員 A) 小学校も、どの教科の授業を見ても体験となると、自分の事として捉えることができる。わが校も、主体的に深い学びができるかということでやっていますが、高校でも、どの教科の先生でもわが事のように授業研究をされていると思います。

(教員 H) こういうテーマ(10年経験者研修の取り組み)を今年度取り組み、まずは理想形のひとつ手前で、とにかく興味を持ってやっっていこうというところです。

化学基礎は非常にしんどい。いかに学ばせるかが自分の中でのテーマで、自分の中で通用しない自分がいて、個人的に他の先生の事を見せて頂いている。必須科目を皆で共有していない。

今のところテーマを決めて、このテーマの絞り方はどうかなのか、こういう下ろし方はどうかといった目線で、他教科が入って検討するのは悪くないのではな

いか。

(議長) 先日、ある中学校に行ったが、教科のローテーションで授業を見て、その後、反省会をやったが、その反省会が面白くなく、学校（他教科の先生も含めて）皆で授業を練り上げる授業研究にしませんか、その方が楽しいのではないか。という提案をした。実際、秋田の中学校の先生と話していて、同じ教科の先生に見てもらうより、他の教科の先生に見てもらう方が、生徒目線でアドバイスをもらえる。そういう文化がある。よって、秋田は授業がうまくなっていく。皆で練り上げて授業研究にする方がおもしろく、狙いを設定するとかよりも、この授業をどうするのかという方が、盛り上がるのではないかと考えた。来年に検討するのもおもしろいのではないか。

他の先生方、この授業力向上について何かありませんか。

(委員B) それぞれの生徒から聞ける雰囲気は大切ではないか。中学ではこの先生の話がつまらない、話しが長い、という事があったが、八尾北では何でも聞ける雰囲気の授業があるので、子どもがふっと思った疑問を気軽に聞けるのがいい。先生の方からも聞いたような生徒がいたらキャッチしてもらえたらいいなと思っています。先生たちとの会話で気軽に聞けるのがいいと思いました。

(議長) 授業力向上というテーマで始まったのですが、いろいろご意見を頂きました。

本日はありがとうございました。

(教頭) これは中間報告であり、今後もこの研修を見守っていきます。生徒の好奇心への向き合いと、教員自身の教科に対する興味、授業への取り組みを大切にして、今後も八尾北の授業力向上に真摯に尽力していこうと感じました。協議会委員のみなさま、参加の先生方、本日は貴重なご意見ありがとうございました。

6. 次回以降の学校運営協議会について

○第3回予定 2月5日(水) 14:10~16:00

- ・本校の1年間の取り組み報告、まとめについてご意見を頂く。